CASBEE-広島　（2010年ver.1）
（仮称）サーパス舟入川口町　新築工事

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル：CASBEE広島　2009年版
■ベース評価ソフト：　CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート　　実施設計段階

配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分 評価点	建物全体・共用部分 重み係数	住居・宿泊部分 評価点	住居・宿泊部分 重み係数	全体
Q　建築物の環境品質								**3.0**
Q1　室内環境					**0.40**			**3.5**
1 音環境				**2.6**	0.15	**2.7**	1.00	**2.7**
1.1 騒音				**3.0**	0.40	**3.0**	0.40	
	1	暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00	
		設備騒音対策			-		-	
1.2 遮音				**3.0**	0.40	**3.4**	0.40	
	1	開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30	
	2	界壁遮音性能			-	3.0	0.30	
	3	界床遮音性能（軽量衝撃源）	LL-45を採用		-	4.0	0.20	
	4	界床遮音性能（重量衝撃源）	LL-50を採用		-	4.0	0.20	
1.3 吸音				**1.0**	0.20	**1.0**	0.20	
2 温熱環境				**1.6**	0.35	**5.0**	1.00	**4.3**
2.1 室温制御				**2.2**	0.50	**5.0**	1.00	
	1	室温設定		3.0	0.63	-	-	
		負荷変動への対応			-		-	
	3	外皮性能	複層ガラス等の採用	1.0	0.38	5.0	1.00	
	4	ゾーン別制御性			-		-	
		温度・湿度制御			-		-	
		個別制御			-		-	
		時間外空調への対応			-		-	
		監視システム			-		-	
2.2 湿度制御				**1.0**	0.20	**-**	-	
2.3 空調方式				**1.0**	0.30	**-**	-	
3 光・視環境				**2.3**	0.25	**3.3**	1.00	**3.1**
3.1 昼光利用				**1.8**	0.30	**2.6**	0.50	
	1	昼光率		1.0	0.60	1.0	0.50	
	2	方位別開口			-		0.30	
	3	昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策				**2.0**	0.30	**4.0**	0.50	
		周辺景観のグレア			-		-	
	2	昼光制御	庇、カーテンにより昼光を制御	2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度				**3.0**	0.15	**-**	-	
	1	照度		3.0	1.00	-	-	
		維持対策			-		-	
3.4 照明制御				**3.0**	0.25	-	-	
4 空気質環境				**3.2**	0.25	**3.3**	1.00	**3.3**
4.1 発生源対策				**4.0**	0.60	**4.0**	0.63	
	1	化学汚染物質	ほぼすべての内装建材にF☆☆☆☆を採用	4.0	1.00	4.0	1.00	
		ダニ・カビ等			-		-	
		シックハウス対策			-		-	
		レジオネラ対策			-		-	
4.2 換気				**2.0**	0.40	**2.3**	0.38	
	1	換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
	2	自然換気性能			-	3.0	0.33	
	3	取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	1.0	0.33	
		換気経路			-		-	
4.3 運用管理					-		-	
	1	CO_2の監視			-		-	
	2	喫煙の制御			-		-	
Q2　サービス性能				–	**0.30**	**-**	-	**3.0**
1 機能性				**2.6**	0.40	**3.4**	1.00	**3.2**
1.1 機能性・使いやすさ				**1.0**	0.60	**3.0**	0.60	
	1	広さ・収納性			-		-	
	2	高度情報通信設備対応			-	3.0	1.00	
	3	バリアフリー計画		1.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性				**5.0**	0.40	**4.0**	0.40	
	1	広さ感・景観			-	3.0	0.50	
	2	リフレッシュスペース			-		-	
	3	内装計画	実物大モデル・インテリアパース等を作成し、照明及び内装を計画	5.0	1.00	5.0	0.50	
1.3 維持管理					-		-	
	1	維持管理に配慮した設計			-		-	
	2	維持管理用機能の確保			-		-	
2 耐用性・信頼性				**3.0**	0.31		-	**3.0**
2.1 耐震・免震				**3.0**	0.48		-	
	1	耐震性		3.0	0.80		-	
	2	免震・制振性能		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				**3.3**	0.33		-	
	1	躯体材料の耐用年数	劣化対策等級2	4.0	0.23		-	
	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	タイル貼採用	5.0	0.23		-	
	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.09		-	
	4	空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08		-	
	5	空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15		-	
	6	主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.23		-	

	2.3 省メンテナンス対			-		-	
	2.4 信頼性		2.8	0.19		-	
	1	空調・換気設備	3.0	0.20		-	
	2	給排水・衛生設備	3.0	0.20		-	
	3	電気設備	3.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法	1.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備	メタルケーブル採用 / 精密機器の地下埋設を避けている	4.0	0.20		-	
3 対応性・更新性				3.0	0.29	2.8	1.00	2.8
	3.1 空間のゆとり				-	2.6	0.50	
	1	階高のゆとり			-	3.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ			-	2.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり				-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性			3.0	1.00		-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.17		-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
	6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境（敷地内）				–	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30		-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50		-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性				–	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー				–	0.40	-	-	4.6
1 建物の熱負荷抑制			設計住宅性能評価　省エネルギー対策等級　4等級適合	5.0	0.40		-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20		-	3.0
	2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50		-	
	2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化			電気温水器（ｴｺｷｭｰﾄ）採用	5.0	0.40		-	5.0
4 効率的運用				-	-		-	-
	4.1 モニタリング			-	-		-	
	4.2 運用管理体制			-	-		-	
LR2 資源・マテリアル				–	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護				3.4	0.15		-	3.4
	1.1 節水		節水型便器採用	4.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60		-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00		-	
	2	雑排水再利システム導入の有無		-	-		-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.7	0.63		-	2.7
	2.1 材料使用量の削減			2.0	0.07		-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24		-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		ー	3.0	0.20		-	
	2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		ー	1.0	0.20		-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.05		-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上げが容易に分別可能	4.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				2.6	0.22		-	2.6
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32		-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			2.5	0.68		-	
	1	消火剤		3.0	0.50		-	
	2	断熱材		2.0	0.50		-	
	3	冷媒		-	-		-	
LR3 敷地外環境				–	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮			LCCO2排出率　78%	4.7	0.33		-	4.7
2 地域環境への配慮				2.4	0.33		-	2.4
	2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.6	0.25		-	
	1	雨水排水負荷低減		-	-		-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
	3	交通負荷抑制		3.0	0.33		-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33		-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
	1	騒音		3.0	1.00		-	
	2	振動		-	-		-	
	3	悪臭		-	-		-	
	3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
	2	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
	3.3 光害の抑制			3.0	0.20		-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
	2	昼光の建物外壁による反射光（グレア）への対策		3.0	0.30		-	